

登録コード	HM106900	開講年度	2026				
授業題目	分子細胞生理学論文演習					担当教員	田渕 克彦 他
英文授業名	Thesis Seminar in Molecular & Cellular Physiology					副担当	森 琢磨・白井 良憲
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				⇔	分子細胞生理学分野の論文の読み方を理解する。	
(2)詳細/Detailed information	医学データベースを用いて医学論文を検索する能力を習得する。また、神経科学に関する学術論文を読み、その内容を第三者にプレゼンテーションする能力を身に着ける。						
(3)授業の概要/Overview of course	直近の神経生理学分野の優れた論文を抽出し、担当を決めて学生に内容をプレゼンテーションさせ、担当教官が論文の内容に関する質問を行い、知識などが不足している分は補う。また、学生同士でディスカッションをさせ、研究論文の読み方や考え方、優れた研究を行うにはどのようなものが必要かを身に着けさせる。						
(4)授業計画/Course plan	(田渕克彦、森琢磨／15回) 抄読会形式で、医学論文を批判的に読む能力、その内容を要約してわかりやすく紹介できる能力を習得させる。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	中間試験50点、期末試験50点 得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、89-89% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	予習、復習、課題を行うため、パソコンができる環境を準備すること。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	直接教官にon siteで質問する。						
(8)授業の形式/Course format	抄読会形式。						